

北翔大学で学ぶみなさんへ

～学長からのメッセージ～

北翔大学

学 長 佐々木 浩 子 SASAKI Hiroko



北翔大学は、1997年に北海道女子大学として開学してから今年で29年目を迎えます。建学の精神にある「自立できる社会人の育成」を基本にした高等教育機関で学んだ10,000人を超える先輩たちが、北海道はもとより、日本全国の各地で活躍しています。そして、地域社会からは本学のこれまでの実績に多くの信頼と期待が寄せられています。

本学は、「生涯スポーツ学部」と「教育文化学部」の2学部4学科から構成され、生涯スポーツ、教育、芸術、心理の分野で専門性を磨き、社会の課題に応える人材育成を目指しています。これらの学びに共通するのは、人に「よりそう」ための学びということです。

皆さんには、4年間の学びを通じて専門的な知識や技術を身につけるとともに、社会で信頼される人として成長されることを期待しています。

生涯スポーツ学部は、今年度からこれまでのスポーツ教育学科と健康福祉学科の専門性を融合し、学びを発展させるために新しく生涯スポーツ学科となりました。生涯スポーツ学科の8つの学びの分野は、子どもから高齢者まで誰もが生涯を通じて運動・スポーツに親しめる、いきいきとした「生涯スポーツ社会」の実現を目指しています。

教育文化学部は、教育学科、芸術学科、心理カウンセリング学科で構成されています。教育学科は、「保育士、幼稚園・小学校教諭、中学校及び高等学校音楽科教諭、養護教諭」を、芸術学科は、「美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術の5分野を幅広く身につけた職業人」を、心理カウンセリング学科は、「心理学と精神保健福祉学の学びを通して一人ひとりの心を包括的に支える人材」を、それぞれ養成することを目的としています。

大学は、これまでの小学校、中学校、高等学校で身につけてきた知識や考え方を基盤にして、主体的に自らの専門性を深めるために学修・研究する場です。この4年間の学生生活で身に付けた専門性は、社会で皆さんがどのように活躍できるかという出発点となります。そのためには、自ら主体的にどの科目を選択し、どのようなテーマで研究を深めるかが求められます。そのことが、これからの皆さんの社会人としての人生の土台となります。

この「学生便覧」は、皆さんが学生生活を送る上での手引きであり、社会に出てからも皆さんの学修の履歴を確認するためのものでもあります。どのような資格を取得して社会で活躍するのか、どのような学生生活を送るのか、この便覧をもとにして学修計画を練り上げてください。

最後に、本学は「愛と和と英知」を基本理念として、「よりそう」ことを重視した教育活動を展開しています。これは学生にだけ求めるものではなく、教職員一人ひとりにとっても大切な理念です。その理念を共有して、皆さん一人ひとりが夢や希望の実現に向けて実りある大学生活を送ることを支援したいと考えています。